尾張徳川の足跡を訪ねて　番外編 17～金シャチのうろこ～

　名古屋城西の丸御蔵城宝館で開催されている特別展「黄金をまとう鯱」に、初代金鯱のうろこの一部が展示されています。昭和２０年の空襲で焼け落ちた初代の金鯱。焼け残ったうろこの一部は GHQ に接収されたのち返却されたり、堀から見つかったりしたものが、大切に保管されてきました。今も美しい金色が残っているものもあります。









　最新研究で、金の含有率が明らかになり、行われてきた補修の様子も徐々に明らかになってきているそうです。江戸時代の補修は丁寧に行われました。家康公がつくった金鯱は、とても大切に取り扱われていたようです。

　藩の財政が苦しくなって、金の含有率を低くしたものに変えたというううわさは、まちがいなのでしょう。